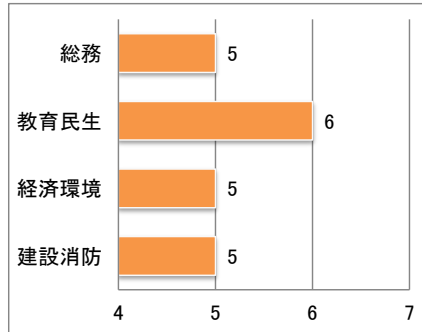


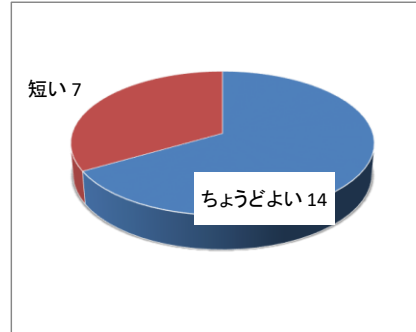
香川大学生との意見交換会
アンケート集計結果

参加人数：21人（アンケート提出人数21人）

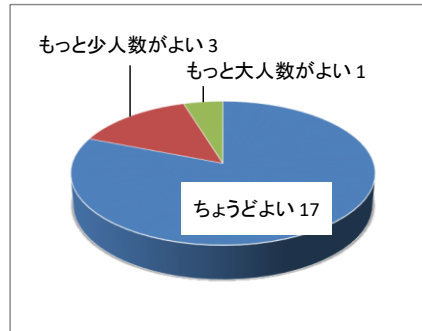
問1 参加グループ（委員会別）（人）



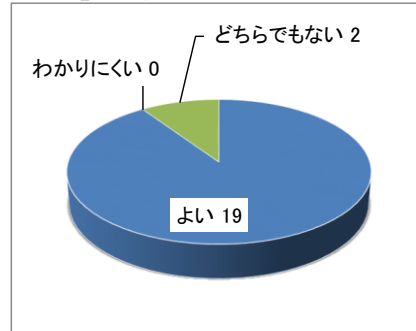
問2 意見交換の時間（人）



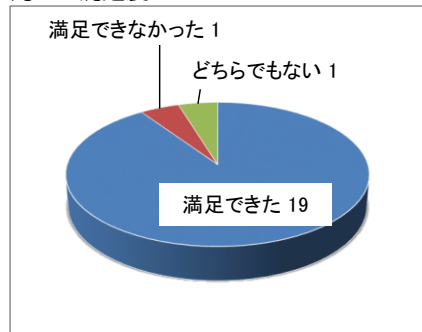
問3 参加人数（人）



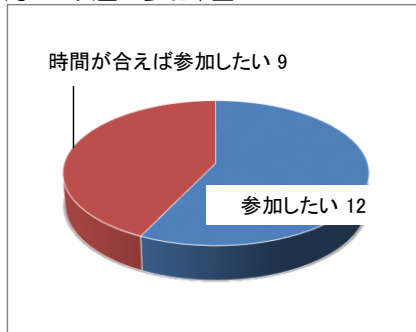
問4 意見交換会のテーマ（人）



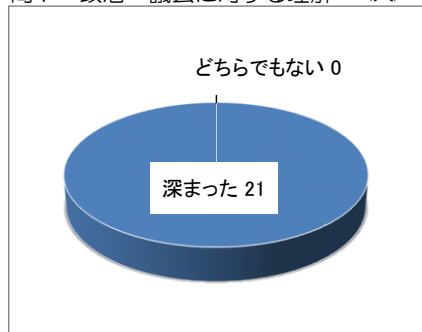
問5 満足度（人）



問6 次回の参加希望（人）



問7 政治・議会に対する理解（人）



問8 市政について、どのような関心があるか。どのようなことを議論したいか。

- ・自転車やバイク等によく乗るので、インフラに関心があります。
- ・若者の投票率について
- ・議員個人の考える政策案について
- ・人口や産業の改善について
- ・人口の流出や少子高齢化対策、子育て支援について
- ・市の再開発計画
- ・市民の方と議員の方との距離感をお互いどう思っているか議論してみたいと思いました。
- ・高松市が直面している人口減少問題に対して今後どのような対策をとっていくべきか
- ・教員の労働問題について
- ・財政について
- ・税収入の使い道
- ・人口減少・流出についての対応策をもっと議論してみたかったです。
- ・教育、少子化、交通機関、街開発
- ・少子化対策について、地方レベルでどのような対策が効果的か
- ・教育費の無償化など子どもや若者が育ちやすい、生活しやすい環境づくりに対する取組・政策に興味があります。
- ・香川大学にビラ配りに行ったとき、あまり優しくなかったとの意見を議員さんから伺ったので、若者の投票率について議論してみたいです。
- ・人口対策
- ・子育て支援について
- ・就職関連
- ・異文化交流(在住外国人への支援、高松の学生の留学)
- ・雇用(Uターン就職を促すために)
- ・高松市が今一番取り組むべき課題とは何かについて。
- ・まちづくりに関すること
- ・人口流出とまちづくりについて
- ・市の目玉政策の決定過程と実施方法について興味がある。

問9 感想・議会に対する意見等

- ・普段入れない議会に入ることができ、また多くの議員の方と話すことができ大変楽しかったです。正直もっと準備したり、専門分野等に関して議論できたらより実りのあるものになったのではないかと感じています。
- ・普段ない経験だったため、印象に残った。議員はどこか遠い世界の人のように今まで感じられていたが、今回で少しその印象は変わったように感じられる。
- ・とても建設的な話し合いだったと思います。また機会があれば参加したいです。
- ・普段会うことができない議員の方と貴重な意見交換をさせていただいたこと、大変有意義でした。また自分の生活を見直すために良い経験になりました。また議会の様子などを見学したいと考えました。
- ・フリートークの時間がもう少しほしいなと思った。
- ・議員の方の話し方が非常に丁寧でまた、議論を盛り上げるためにさまざまなお話をさせていただいて、議論に参加しやすかったです。
- ・議員のみなさまがとてもフレンドリーな雰囲気を出してくださり、とても発言がしやすかったです。このような機会があれば、もう一度参加してみたい。
- ・議員の方々の率直な意見が聞けてとても有意義な議論だった。
- ・学生の準備不足で深い議論ができなかったと感じた。興味・関心のある題材であったが知識不足を感じた。
- ・とても有意義なものになりました。議会の雰囲気等知らないことが多かったですが、とても話しやすく、勉強になりました。現在の議会を広めていけば市民の信頼も増えるのではないかと思います。
- ・普段であれば聞けない、知ることができないお話をすることができ、非常に有意義でした。
- ・議員の皆様が想像以上にフレンドリーで楽しく意見を交わすことができました。実際に議員の方々が並んでいる光景を見るととても格好良いと感じました。
- ・私自身がもう少しテーマに対してや高松市が行っている政策について知識を身につけていれば、もっと深く議論することができたろうと感じました。高松市議会の皆さんがとても温かく迎えてくださったので、意見も発言しやすかったです。
- ・議員の方とお話するとのことで、とても緊張していましたが、みなさん優しい方ばかりで、話しやすい雰囲気だったのでとてもよかったです。選挙に行こうという気持ちになりました。
- ・とても話しやすい雰囲気を作ってください有難かったです。自分の拙い発言も真摯に聞いて下さって嬉しかったです。またぜひ参加させていただきたいです。
- ・議員の方が話しやすい雰囲気をつくってください、自分の意見などを伝えることができ有意義な時間だった。
- ・知らなかったことを知ることができてとてもよい機会でした。今まで議員の方と接したことがなかったのですが、少し緊張しましたが、皆様フランクに話してくださったので、リラックスして取り組むことができました。
- ・普通ではできない方々との話し合いができたため、いろいろなことを学べた。議員の方がトークしやすいように場を明るくしてくれたので、緊張をやわらげることができた。本日はありがとうございました。
- ・議員の方々の貴重なご意見が聞けて、非常に良い経験になった。自分の知識不足を感じる部分も多々あったので、より市政に関心を持つ必要があると感じた。思っていたより議員さんがたくさん来てくださったため緊張したが、活発な意見交換会にできたと思う。
- ・市議の方も非常にやさしく対応していただき話しやすい雰囲気であったので、市政について興味が深まりました。

問10 高松市が住みやすい魅力ある都市となるためには、どのようなまちづくりをしていけばよいか。

- ・現時点で十分住みやすい魅力ある都市だと思いますので、よりアピールを外に向けてして欲しいなと思います。
- ・子育てのしやすい環境
- ・学生や現役の世代への支援
- ・物価がそれほど高くなく、生活するのにお金がかかりすぎず、余裕がある暮らしのできるまちづくりをしてほしい。
- ・高松市の若い世代が積極的にイベントの企画できる支援をしたり、また公共施設の拡充が進めばより多くの人が高松市に集まると考えます。
- ・現役世代に優しいまちづくり
- ・私の目には、高松市は今でも十分魅力のある都市であると感じておりますので、今行っている施策をさらに加速するのがよいと思いました。
- ・若者世帯にとってすみやすいまちづくりをしていくために子育て支援を今後も続けるとともに、雇用の創出に積極的に尽力していけばいいと思う。高松固有の産業などをPRし、若者世帯を呼び込むこともいいと思う。
- ・社会福祉に力を入れているとのことだったので、そのままの方向で現場の方々との意見交換をしながら政策を進めていかれたらよくなると思います。
- ・今回のような意見交換の場があることを広く知っていただき、参加や話を聞くなどして議員の方々の熱意などを感じ取って、自分も市政に参加したいと思ってもらい、投票率向上につながることを期待しています。
- ・「市民ができること」を市民に知ってもらったり、綺麗な風景を生かしたまちづくりをしていけば、よりよい高松市となっていくのではないかと考えました。大学生や市民の声を直接聞いていただけの場を設けてもらえると、市政にもっと興味が湧いたので続けていってほしいです。
- ・子どもを“生みたい”ではなく、“育てたい”街を作っていく必要があると思う。(生んだことに対してのケアではなく、育てることに対するケアの充実)
- 高齡化していく中で交通網の整備はかせないとと思う。
- ・高松市はコンパクトにまとまった都市機能と豊かな自然が共存しており、すでにとても魅力的に感じております。大学生の目線としては、生活に困ることはない分、やや娯楽施設にかけているように感じました。駅中や周辺部を充実させると交流人口の増加につながるかもしれません。
- ・高松市も人口減少問題を抱えていると思うので、若者が住みたいと思える環境づくり(雇用や子育て、教育の面)にもっと多様な政策が取り組まれていってほしいです。
- ・相談しやすい環境づくりができれば良いと思います。市役所で働いている職員の方をはじめ、議員の方ともしっかりと身近に接することができる環境だと、より住みやすいと感じられると思います。(今回のような学生との意見交換など)
- ・交通の便を良くしてほしい
- ・商業施設を増やしてほしい
- ・道路を整えてほしい
- ・魅力的な仕事を増やし、若者でも住みやすい都市にすることが重要だと思う。また、子育て支援を強化して子どもの多い町になったらよいと感じた。
- ・公共交通の利用料金の減額
- ・市民の方たちの意見を積極的に取り入れ、その人たちのニーズに合わせた政策を行っていくことで、よりよいまちにしていけると思います。
- ・アクセスのしやすい環境を整え、より多くの人に足を運んでもらえるようにしたらいいと思う。デジタル化をすすめて、住民にとって生活しやすい都市にしたらより良くなると思う。
- ・より公共交通機関を発展させて、コンパクト・シティ化を進めていく必要があると思う。IC改札を増やしたり、駅を施設としてもっとにぎわわせることが有効だと考える。
- ・デジタル化を進めていき、人ならではのできることを増やしていくことがいいと思いました。また、AIの活用により単純作業を減らし、行財政改革を行う必要があると思いました。